

2024年6月14日(金)

2024年度

# ファンドレイジング業務に関する関心 および取り組み状況アンケート

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会

## アンケート概要

### 目的

1. 対象者が直面する課題やニーズを明らかにすること
2. 定期的を実施することで経年の変化や将来の展望を捉えること
3. 結果について広く共有することでファンドレイザーを取り巻くエコシステム全体の発展に貢献すること

2024年度	
期間	2024年5月31日～6月7日(8日間)
対象	会員限定
回答数	283件
結果	<a href="https://jfra.jp/pdf/fundraiser_survey_2024.pdf">https://jfra.jp/pdf/fundraiser_survey_2024.pdf</a>

(参考)2023年度	
期間	2023年6月2日～6月9日(8日間)
対象	会員限定(ファンドレイジング従事者に限る)
回答数	131件
結果	<a href="https://jfra.jp/pdf/fundraiser_survey_2023.pdf">https://jfra.jp/pdf/fundraiser_survey_2023.pdf</a>

## 今回の設問項目について

### 共通質問

- Q. ファンドレイザー 資格の保有状況 についてお伺いします。
- Q. 現在のファンドレイジングの 従事状況 を教えてください。  
あなたが目指すファンドレイザーとしての キャリアのイメージ は、どちらが近いですか？
- Q. 当会が寄付者のすそ野拡大のために取り組む「社会貢献教育プログラム」(カードゲーム「from Me」、寄付の教室、社会に貢献するワークショップ、Learning by Giving) にどの程度関心がありますか？
- Q. インパクト測定・マネジメント(IMM) について、あなたもしくは所属および関わる組織の関心や取り組み状況を教えてください。(複数選択可)

### ファンドレイジング業務に関わっていない方向け【18-26頁】

- Q. 非営利団体への 所属および関わり状況 を教えてください。
- Q. あなたがファンドレイジングに 従事していない理由 として当てはまるものを選択してください。(複数選択可)
- Q. 現在、ファンドレイジングの 仕事を探していますか? (複数選択可)
- Q. ファンドレイジングの 求人応募に対して感じる障壁 は何ですか？ 以下の選択肢から、最も当てはまるものを1つお選びください。
- Q. ファンドレイザーの キャリア選択において重視する条件 を教えてください。(複数選択可)

### ファンドレイジング従事者向け【6-17頁】

#### (経年比較対象の設問)

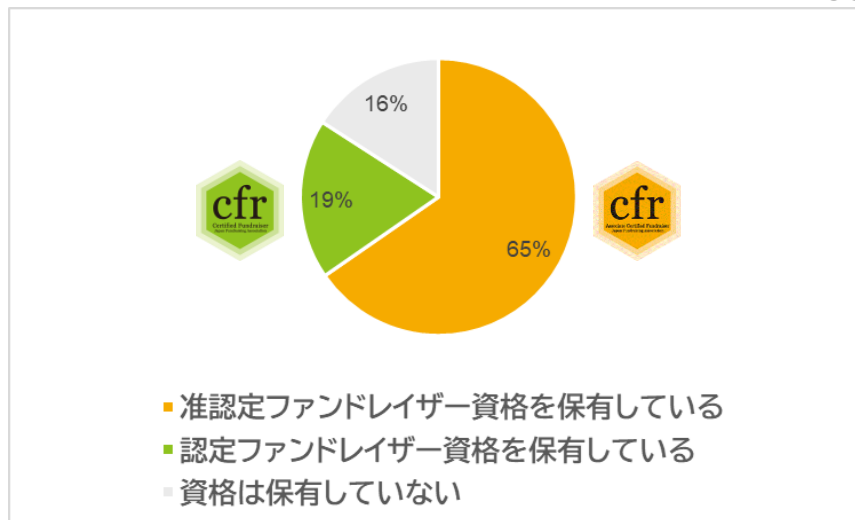
- Q. 一年前と現在を比較して、あなたが所属する組織、あるいは関わっている 組織の資金調達状況 についてのあなたの認識を教えてください。
- Q. あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織の現在の資金調達状況に対して あなたの貢献度 を教えてください。
- Q. 一年前と現在を比較した、あなたの 収入の状況と今後の見通し について教えてください。
- Q. 現在、あなたが所属する組織、あるいは関わっている 組織のファンドレイジングの取り組み状況 について、あなたの意識を教えてください。
- Q. 現在、あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織のファンドレイジングの取り組み状況について、あなたの貢献度 を教えてください。
- Q. ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に 期待していること があれば教えてください。

#### (新規設問)

- Q. あなたがファンドレイジングをする際に、組織の内外を問わず、信頼と実績のあるファンドレイザー として、アドバイスを求めたり、業務の一部を依頼したいと思いつかぶ人は、どれくらいいますか？

## ファンドレイザー資格の保有状況についてお伺いします。

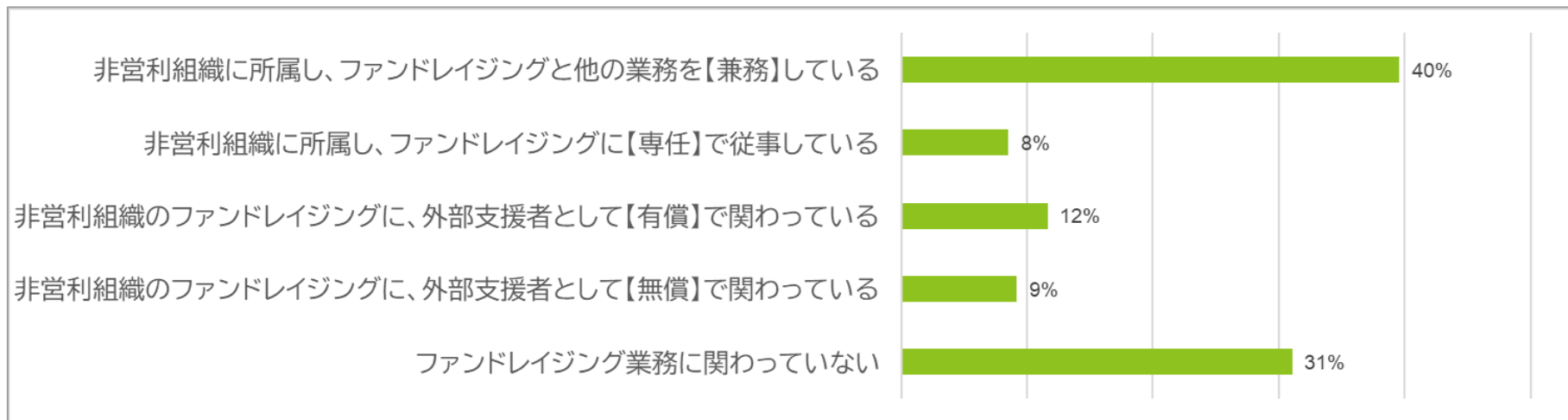
N=283



・回答者の約8割が資格を保有していました。なお、このアンケートの対象である会員のうち、資格を保有している方は約7割であり、このアンケートには、資格保有者の意見がやや多く反映されていますが、会員全体の意見に比較的近いものと言えます。

## 現在のファンドレイジングの従事状況を教えてください。

N=283

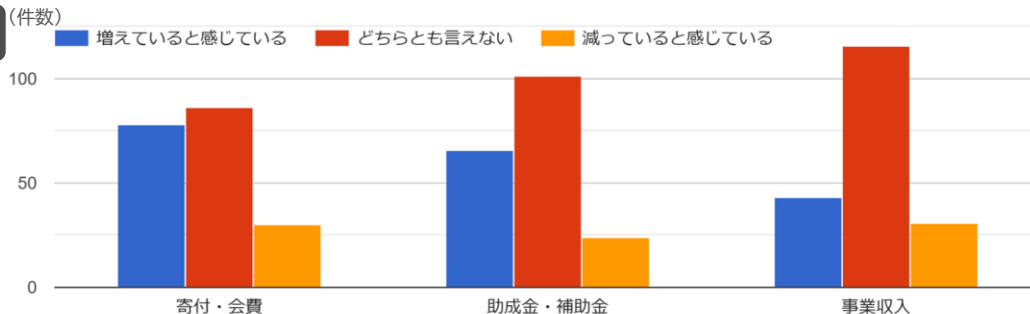


- ・回答者の約半数は、非営利組織に所属し、ファンドレイジング業務を専任もしくは兼務しています。ただし、専任の方は非常に少ないと言えます。
- ・「ファンドレイジング業務に関わっていない」と回答したうち、資格の保有状況を確認すると、約7割は資格保有者という結果となりました。

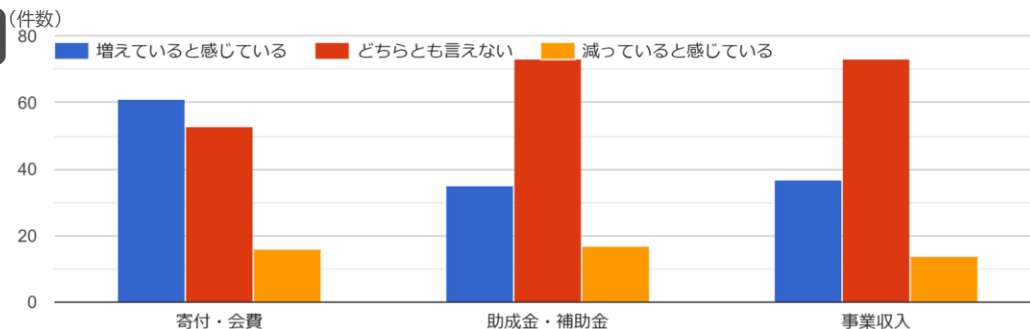
# ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わず)

一年前と現在を比較して、あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織の資金調達状況についてのあなたの認識を教えてください。

2024年度



2023年度

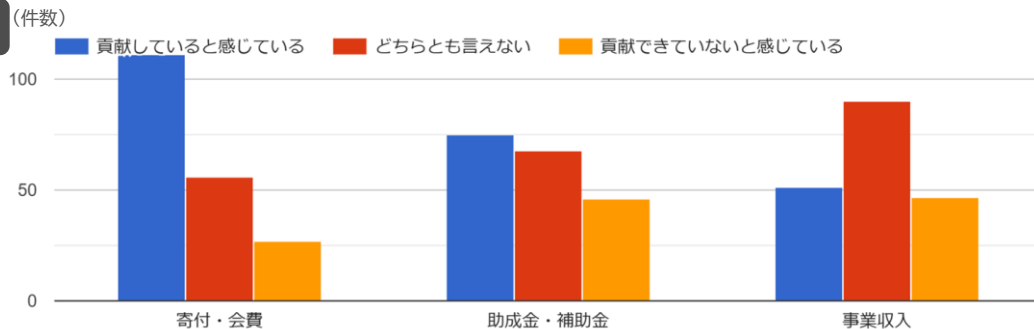


・昨年度と比較すると、「寄付・会費」が増えていると感じている人が少なくなっている傾向があります。

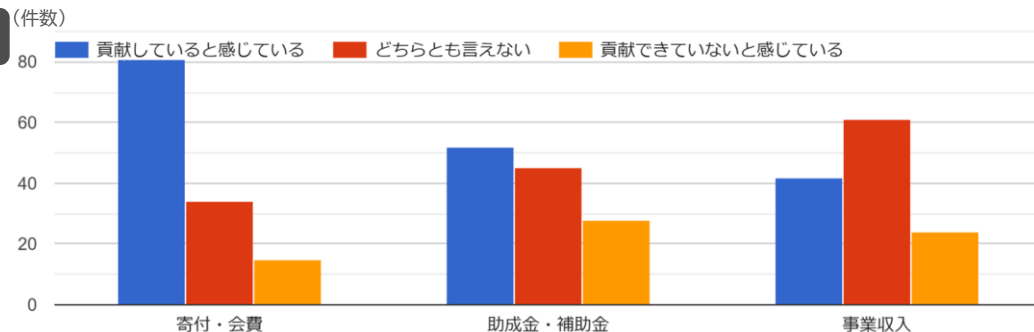
# ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織の現在の資金調達状況に対してあなたの貢献度を教えてください。

2024年度



2023年度

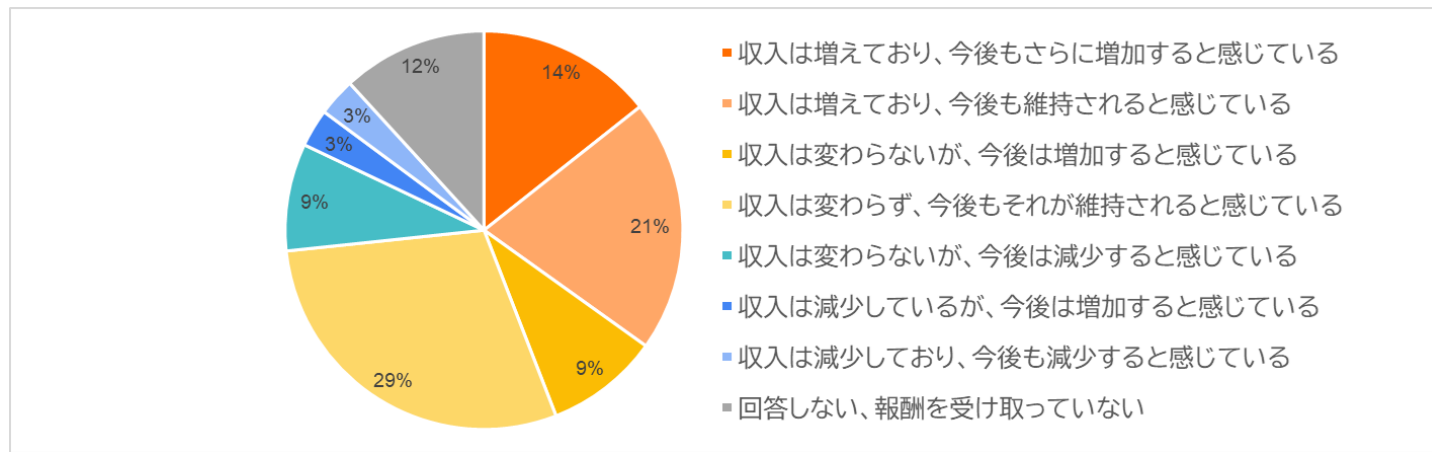


・昨年度同様、ファンドレイジング従事者は、「寄付・会費」の資金調達に貢献していると感じている人が多いと言えます。

## ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

一年前と現在を比較した、あなたの収入の状況と今後の見通しについて教えてください。

N=195



・今後、減少と感じている人は少なく、これは昨年度と同様の傾向となりました。

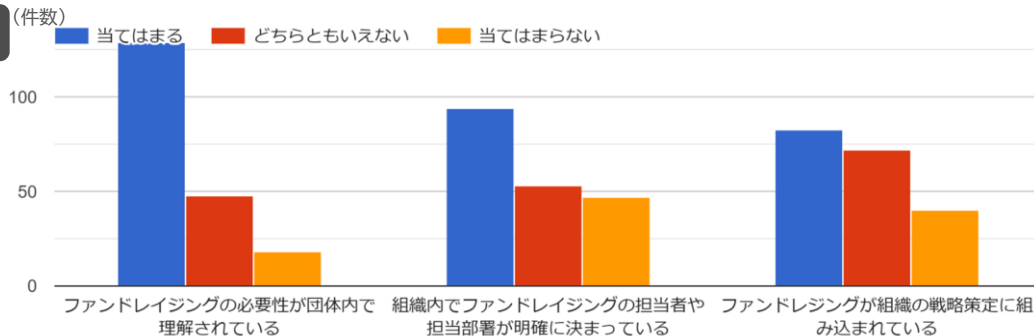
・収入の増加に対する期待感が高いと言える、「一年前と比較して“**増えている**”または“**今後は増加と感じている**”」と回答した層は約半数となりました。



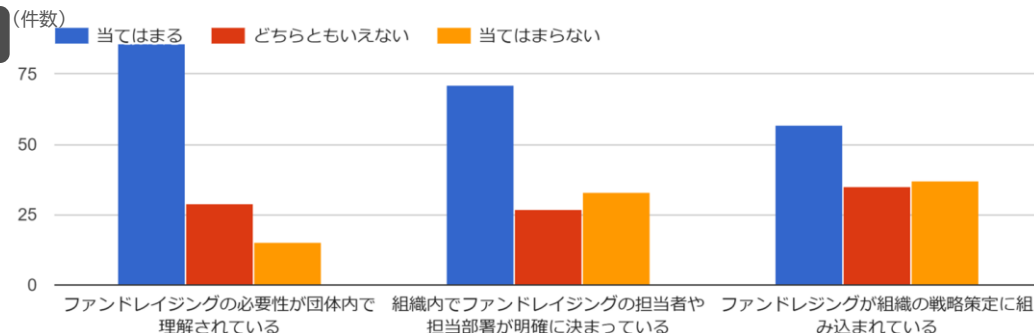
# ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

現在、あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織のファンドレイジングの取り組み状況について、あなたの意識を教えてください。

2024年度



2023年度

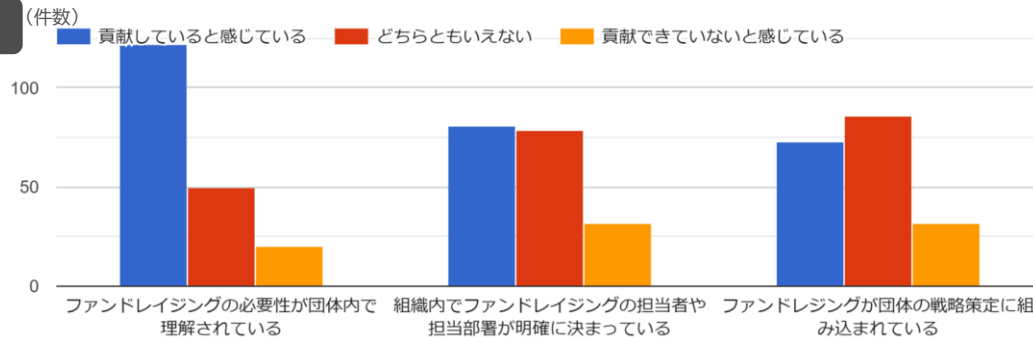


・昨年度同様、組織において、ファンドレイジングの取り組みが重要視されているものの、実施体制や具体的な計画の実行においては、まだ課題が残っていると言えます。

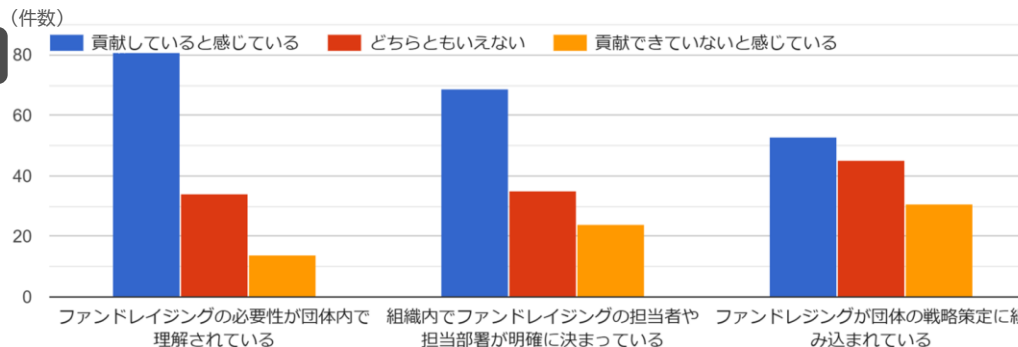
# ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わず)

現在、あなたが所属する組織、あるいは関わっている組織のファンドレイジングの取り組み状況について、あなたの貢献度を教えてください。

2024年度



2023年度



→ 組織のファンドレイジングの取り組みの中でも、特に実施体制や戦略策定において、貢献度を高く感じる人の割合は、昨年度から比較して減少している傾向となりました。

# ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に期待していることがあれば教えてください。

## スキルとキャリアの発展(45件)

### #事例

- ・全国のファンドレイジング事例
- ・米国の事例
- ・成功事例、うまくいかなかった事例

### #マッチング

- ・ファンドレイジングに真剣に取り組みたい、と考えている団体とのマッチング
- ・団体がチャレンジするファンドレイジングのための資金(助成金等)の提供
- ・各NPOに対して有資格者を紹介する

### #ネットワーキング

- ・横の繋がり創出
- ・地方などのネットワーク
- ・先輩の話やキャリアを伺うこと

### #キャリア

- ・一人前のファンドレイザーになるまでのステップづくり
- ・分野の違いに対応できる人材育成
- ・コンプライアンス違反のファンドレイザーの通報窓口設置

※自由回答よりキーワードを抜粋して共有します。

## ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に期待していることがあれば教えてください。

### 認知度拡大(20件)

#### #非営利組織に対して

- ・ファンドレイザーを雇用することによる財務的なメリットの普及
- ・非営利組織に関わる人間すべてがファンドレイジングを知っておくことで事業での価値創造につながるという観点
- ・資金調達部門以外にも響くような発信・企画

#### #別のセクターに対して

- ・NGO・NPO業界以外への広報
- ・企業や行政からの認知度
- ・産業界との積極交流

#### #社会に対して

- ・ファンドレイザーの活躍や、その活躍がどのように社会貢献に繋がっているのか
- ・マスコミなどで取り上げて貰えるような働きかけ
- ・特に若年層へのファンドレイザーという仕事の普及

※自由回答よりキーワードを抜粋して共有します。

# ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

ファンドレイザーが誇りと自信をもって活動できるようになるために、日本ファンドレイジング協会に期待していることがあれば教えてください。

## その他(24件)

### #既存の取り組みの継続

- ・ファンドレイザーを増やす、スクール、実践プログラムを継続する
- ・今回のアンケート調査のように、現状把握・ニーズを確認しながら共に成長していくこと

### #課題

- ・更新費用が高い
- ・ファンドレイジングの価値が数字や規模のインパクトに偏重している
- ・ファンドレイザーをブランディングしつつも「ファンドレイザーとして独立することがすごい」という認識にさせないこと
- ・自団体だけのファンドレイジングに貢献すればいい、という狭くに視野にさせないための意識付け

### #研修やカンファレンスの実施形態

- ・対面でのFRJ、オンデマンドではなくリアル開催の研修、オンラインでの開催

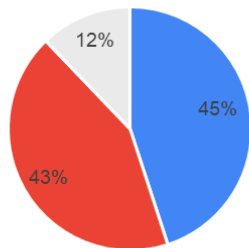
### #市場へのアプローチ

- ・寄付文化を広めること、こどもに寄付を体験してもらうような活動
- ・ビジネスセクターの人々のソーシャルセクターへの巻き込み
- ・ファンドレイザーやNPO従事者の待遇改善・給与向上を目指すイニシアチブの発足
- ・各大学に認定ファンドレイザー設置目標を促すような連携
- ・制度(政策提言等を含む)に関わる部分へのコミット

※自由回答よりキーワードを抜粋して共有します。

## あなたが目指すファンドレイザーとしてのキャリアのイメージは、どちらが近いですか？

N=189



- 非営利組織のファンドレイジングに対して外部から支援するファンドレイザー
- 非営利組織に所属してファンドレイジングを実践するファンドレイザー
- その他

(その他の回答より抜粋)

- ・組織内外のどちらからでも関わることができるファンドレイザー
- ・ファンドレイザーにこだわらない
- ・寄附のマーケティング研究者
- ・経営～調達～評価の支援をワンストップで提供する専門家
- ・組織に所属しファンドレイジングを統括するファンドレイザー
- ・団体とファンドレイザーをつなぐコーディネーター
- ・非営利と営利の両方に所属するファンドレイザー
- ・ファンドレイジングに限定せず、組織全体に関わる
- ・非営利組織の経営者としてファンドレイザーの知見を活用する

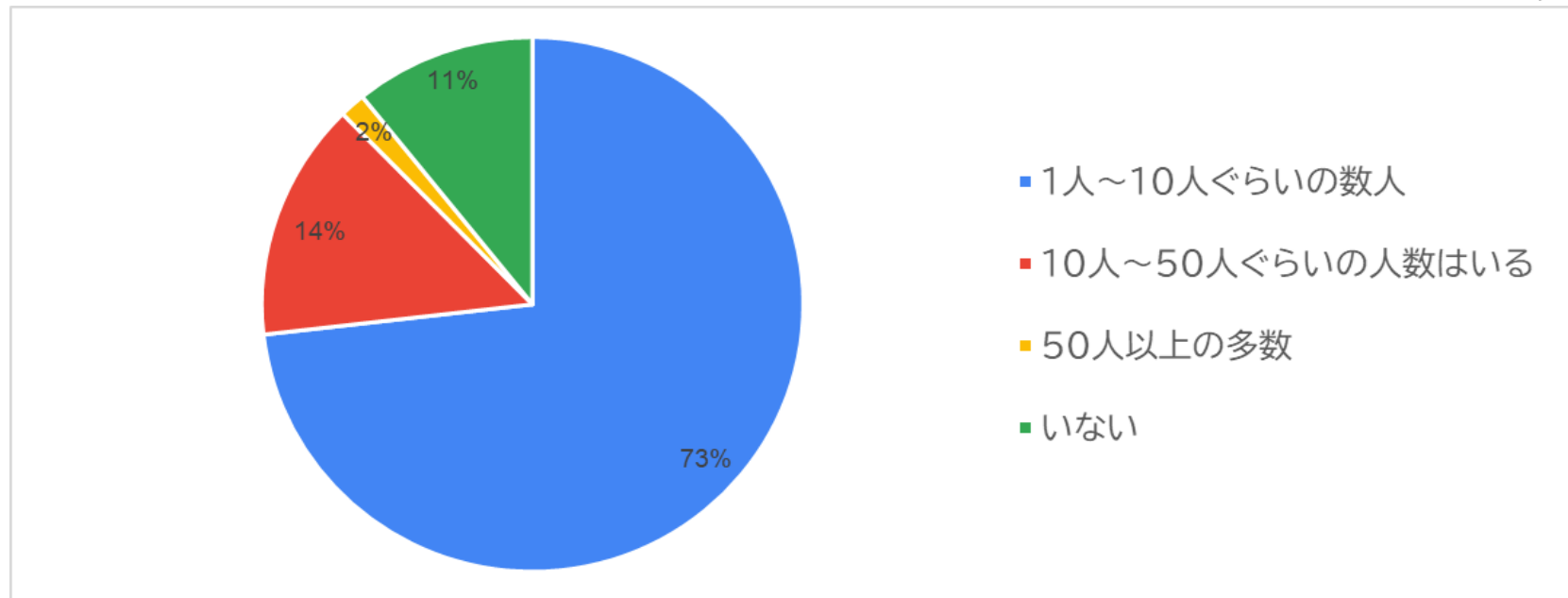


本設問とファンドレイジングの従事状況の設問をかけ合わせると、非営利組織に所属していると回答した方でも、約3割が、外部から支援するファンドレイザーとしてのキャリアイメージを志向している結果となりました。

## ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

あなたがファンドレイジングをする際に、組織の内外を問わず、信頼と実績のあるファンドレイザーとして、アドバイスを求めたり、業務の一部を依頼したいと思いつかぶ人は、どれくらいいますか？

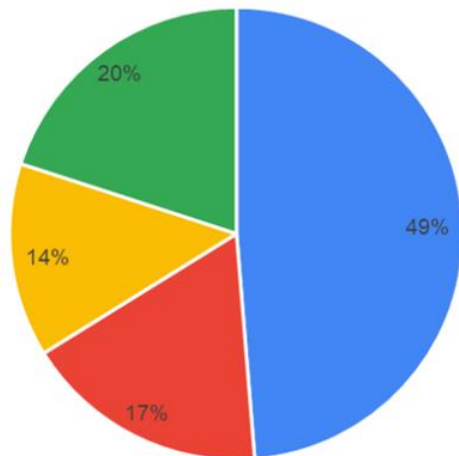
N=194



## ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わない)

当会が寄付者のすそ野拡大のために取り組む「社会貢献教育プログラム(カードゲーム「from Me」、寄付の教室、社会に貢献するワークショップ、Learning by Giving)」にどの程度関心がありますか？

N=195



- まだ参加していないが、今後参加してみたいと思っている
- 体験会や研修に参加し、今後何かしらの形で関わっていきたいと考えている
- すでにファシリテーター資格や研修を受講し、自身の活動として社会貢献教育に取り組んでいる
- 現時点では関心がない



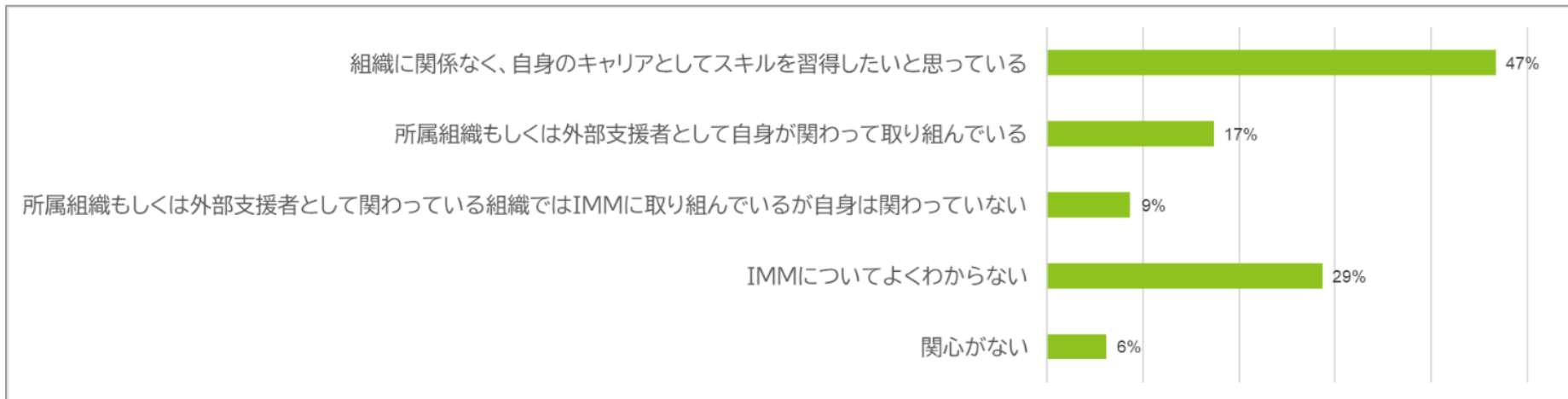
約3割の回答者がすでに社会貢献教育プログラムに参加しており、また約半数が前向きな関心を持っていることから、寄付者のすそ野拡大への期待が高いことが示されました。



## ファンドレイジング従事者向けの設問結果(有償・無償問わず)

インパクト測定・マネジメント(IMM)について、あなたもしくは所属および関わる組織の関心や取り組み状況を教えてください。(複数選択可)

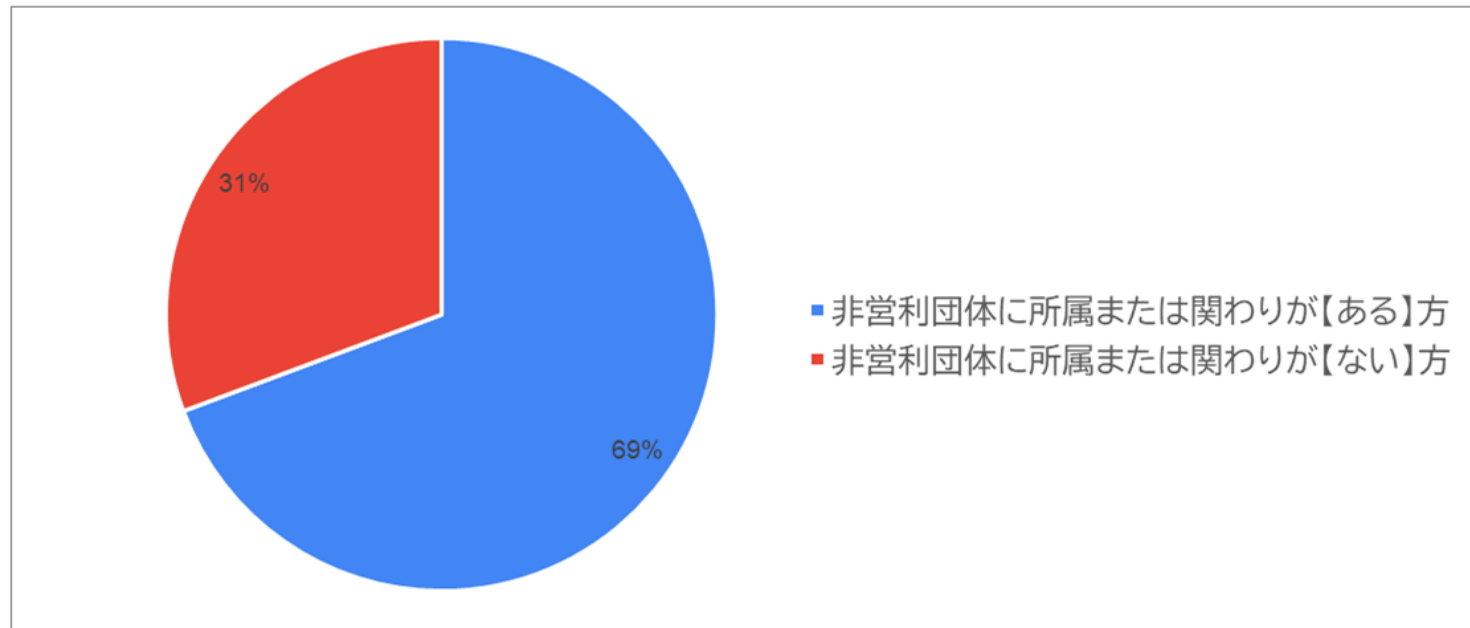
N=195



インパクト測定・マネジメント(IMM)に対する関心が高いことが示されましたが、IMMへの実際の取り組み状況は約3割弱にとどまっています。また、IMMがよくわからないと回答した人も約3割おり、IMMの理解や実践の促進が求められていることが明らかになりました。

非営利団体への所属および関わり状況を教えてください。

N=88

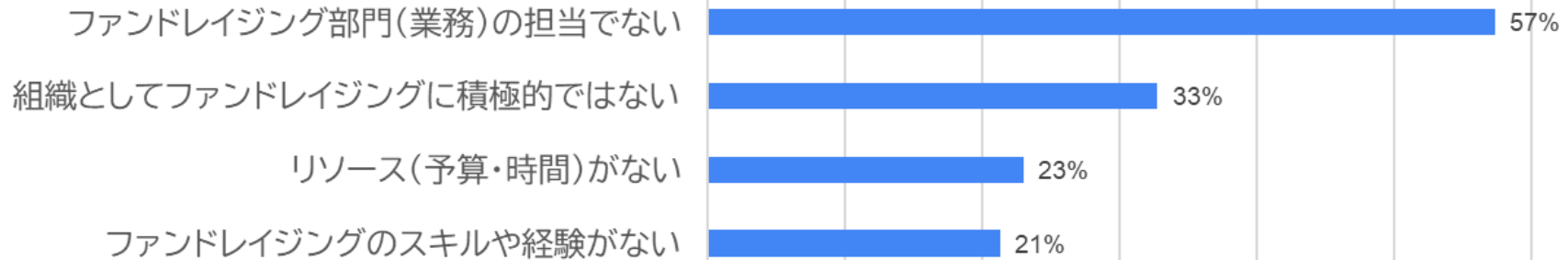


## ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

あなたがファンドレイジングに従事していない理由として当てはまるものを選択してください。(複数選択可)

非営利団体に所属または関わりが【ある】方

N=61



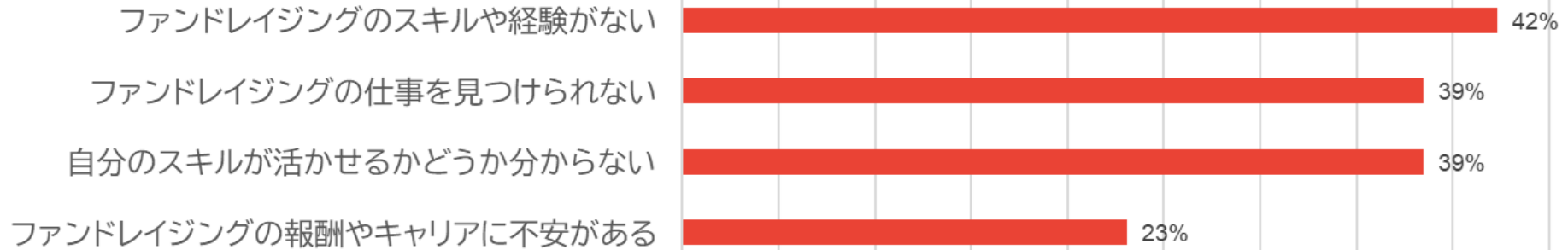
・非営利団体に所属または関わりがある方々がファンドレイジングに従事していない理由として、自身のスキルや経験不足よりも、担当業務ではないことや、組織としての課題が理由であることが示されました。

## ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

あなたがファンドレイジングに従事していない理由として当てはまるものを選択してください。(複数選択可)

非営利団体に所属または関わりが【ない】方

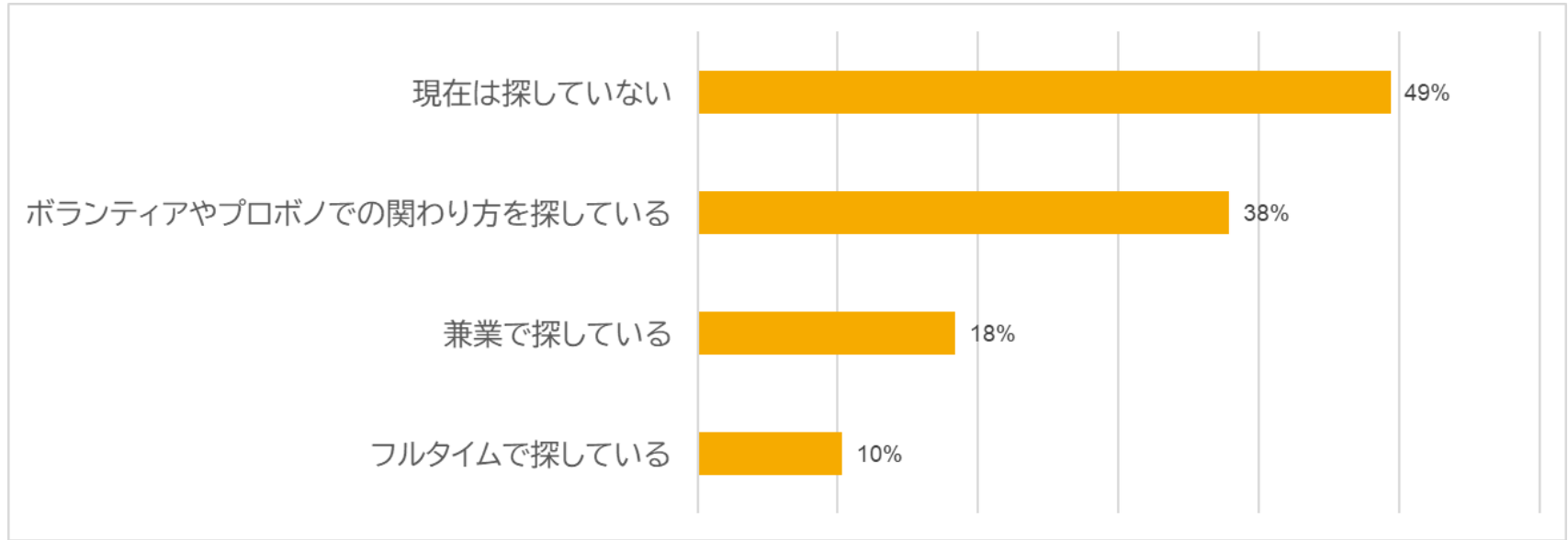
N=26



# ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

現在、ファンドレイジングの仕事を探していますか？(複数選択可)

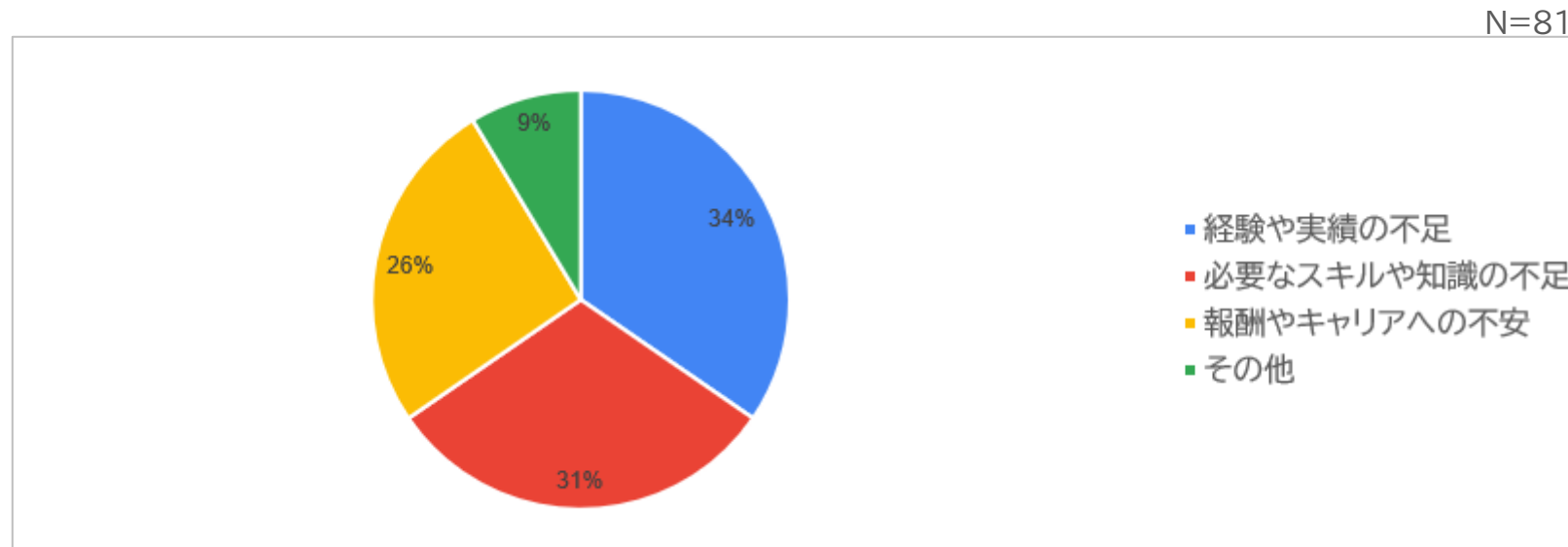
N=87



・現在のところ仕事を探していない人も多いですが、仕事を探している方々の中では、さまざまな関わり方が求められていることが示され、特にボランティアやプロボノでの関わり方を希望する人が多い結果となりました。

## ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

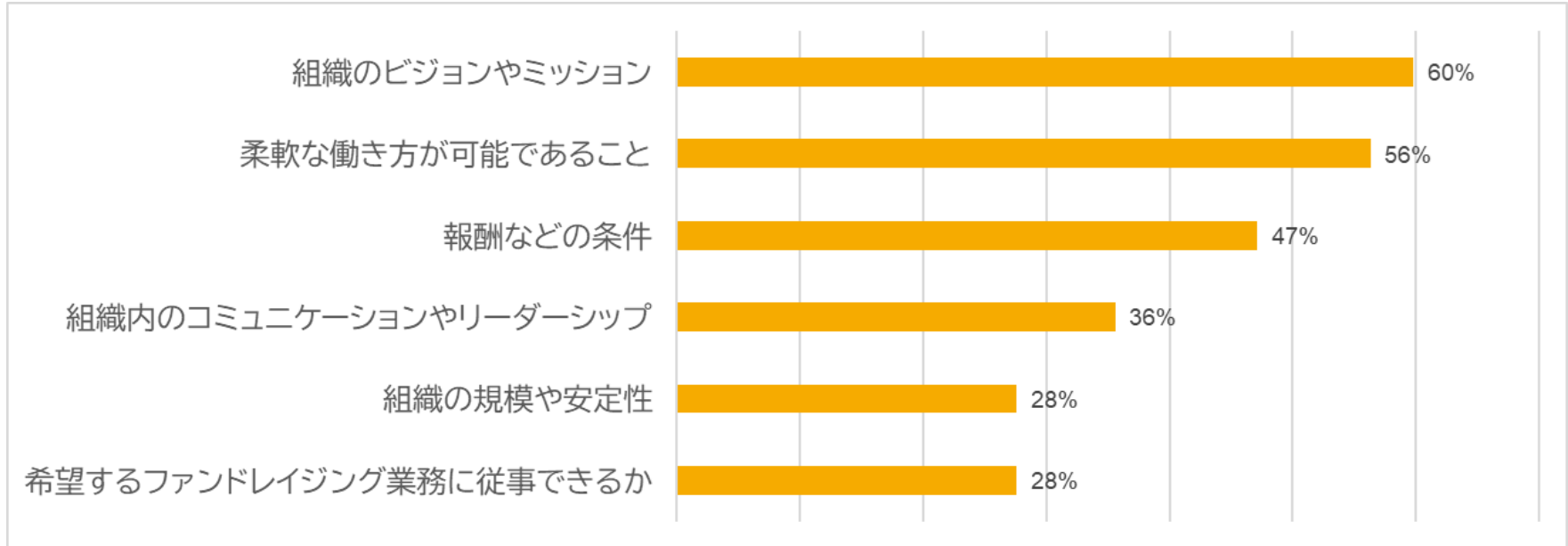
ファンドレイジングの求人応募に対して感じる障壁は何ですか？ 以下の選択肢から、最も当てはまるものを1つお選びください。



## ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

ファンドレイザーのキャリア選択において重視する条件を教えてください。(複数選択可)

N=87

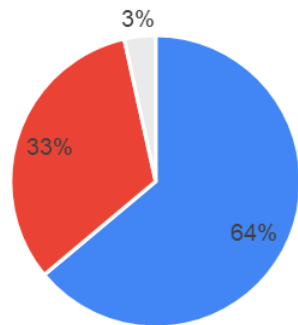


・ ファンドレイザーがキャリアを選択する際には、組織の理念や働き方の柔軟性が特に重要視されていることが示されました。

## ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

あなたが目指すファンドレイザーとしてのキャリアのイメージは、どちらが近いですか？

N=86



- 非営利組織のファンドレイジングに対して外部から支援するファンドレイザー
- 非営利組織に所属してファンドレイジングを実践するファンドレイザー
- その他

(その他の回答より抜粋)

・ファンドレイジングだけでなく、インパクト創出に向けて幅広い支援ができる人材

・営利非営利は問わず、持続性のある事業を運営するための手段として活用したい

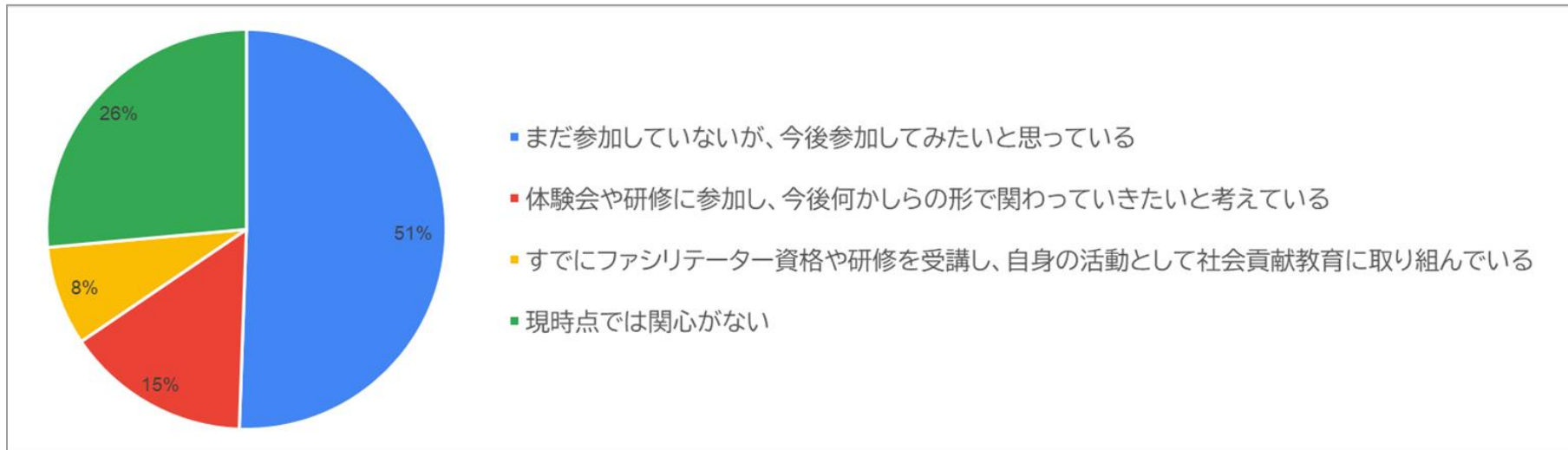
・双方向できるのが理想的。



## ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

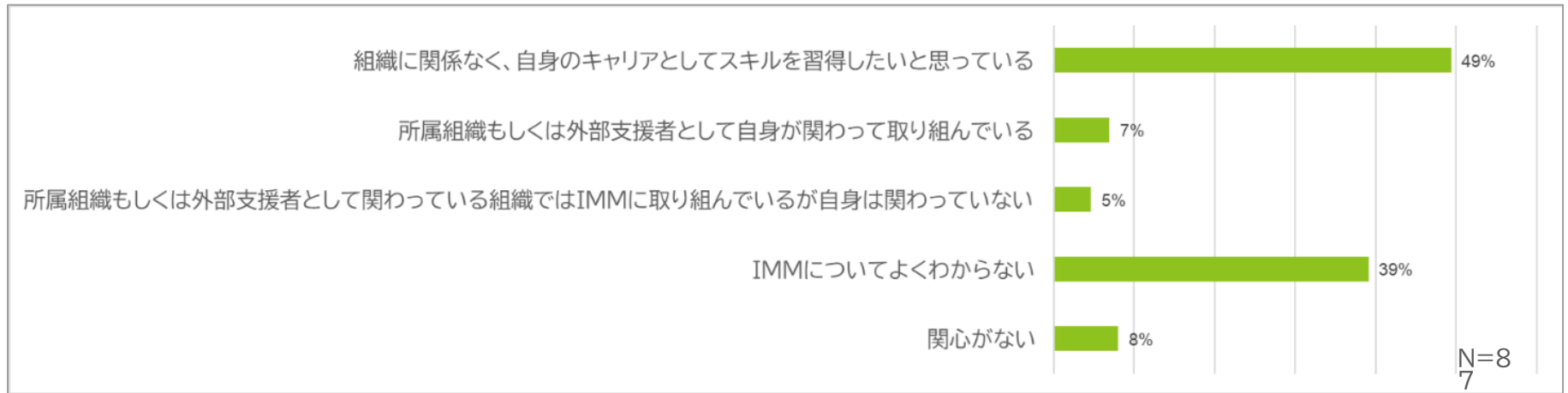
当会が寄付者のすそ野拡大のために取り組む「社会貢献教育プログラム(カードゲーム「from Me」、寄付の教室、社会に貢献するワークショップ、Learning by Giving)」にどの程度関心がありますか？

N=87



## ファンドレイジング業務に関わっていない方向けの設問結果

インパクト測定・マネジメント(IMM)について、あなたもしくは所属および関わる組織の関心や取り組み状況を教えてください。(複数選択可)



ファンドレイジング業務に関わっている人といない人で、インパクト測定・マネジメント(IMM)についての理解度には差が見られましたが、IMMに対する関心の高さは従事状況に関係なく高いことが示されています。